

目的：学校の状況に応じた、多様な学習や体験活動の機会の工夫・充実を図ることで、土曜日の教育環境を豊かなものにするを目的として実施する。

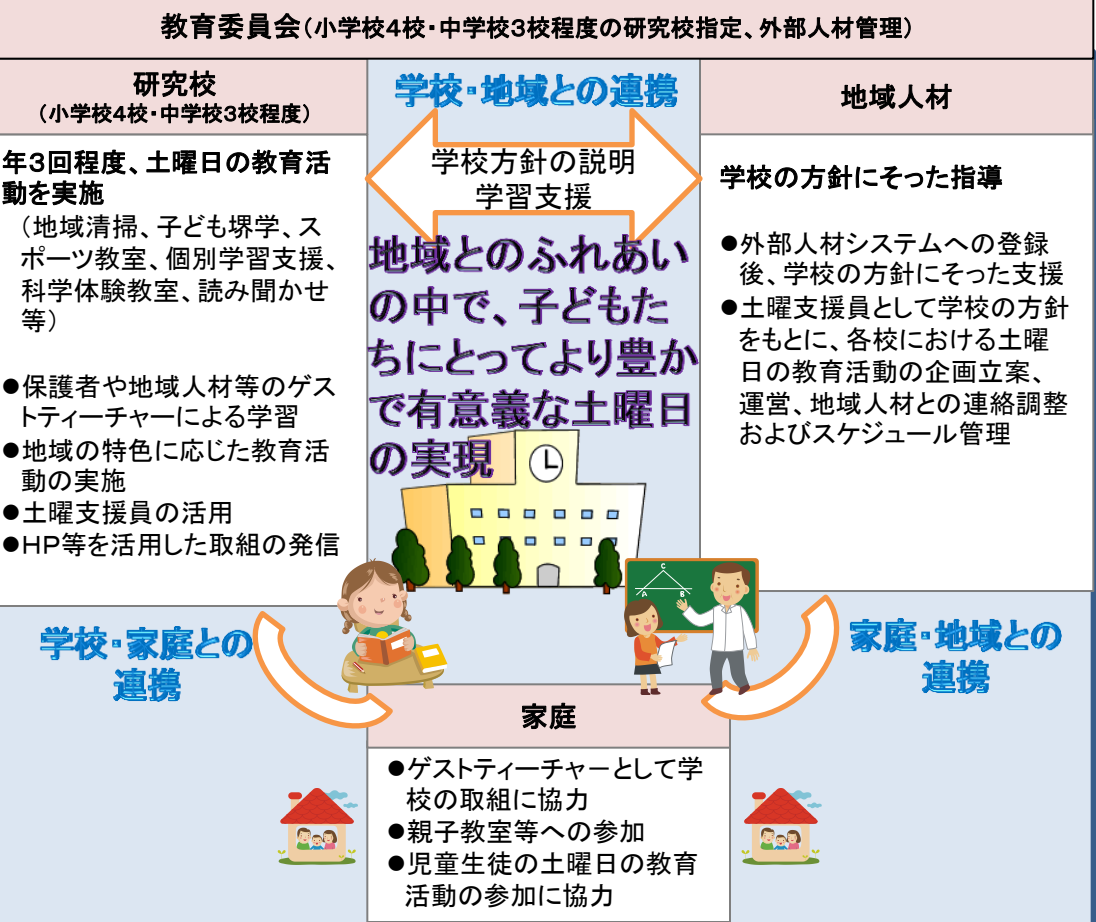
<国の動向>

平成26年度から実施している文部科学省「地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等構築事業」では、企業・団体等の協力による多様な経験や技能を持つ者を配置し、土曜日の教育活動を行う体制を構築し、地域の活性化を図ることを推進している。

<現状>

研究校7校において、各校の計画に基づき実施している。研究校以外の多くの小中学校でも、土曜日に、地域や保護者と連携した取組、授業参観等の教育活動、また、土曜日マイスタディを実施している。

<事業の概要>



<ポイント>

- 地域とのふれあいの中でさまざまな教育の機会を提供する
 - ①学校・学年単位で参加希望者を募集
 - ②土曜日に開講
 - ③学校管理下での教育活動
 - ④講師は外部人材システム登録者の活用が可能
 - ⑤受講料は無料

<課題>

- 学校週5日制の趣旨をふまえつつ、保護者や地域住民等が開かれた学校づくりを進める観点から、子どもたちにとって豊かで有意義な土曜日のあり方
- 土曜日に勤務した教職員の振替休日の取得が困難である。
- 中学校部活動は、土曜日の教育活動とはならない。
- 中学校部活動に参加している生徒は、土曜日の教育活動に参加しにくい。

<事業実施により期待される効果>

- 地域コミュニティ学校としての活動機会の充実
- 子どもたちにとって豊かで有意義な土曜日の実現